



自立 開拓 共生

横浜市立泉が丘中学校 学校便り

一面

泉中リアル改 2月号

平成31年2月12日

発行者：学校長 小菅隆司

電話：045(802)8797

今、泉中は、次期学校経営計画策定中。真冬に脳みそ、汗かいてます。

〈今号は、いつもより、ちょっぴり堅く、長めの話です〉 学校長 小菅 隆司

今、泉中では、来年4月から始まる「3ヶ年学校経営計画」策定の為、この三年間実施してきた事のよし悪しの「評価」をしています。その振り返りを活かして、来年度以降に実施すべき事を改善しようと、職員がそれぞれの立場で悩み考えています。

普段の教育活動にプラスして作業を進めなければならず、忙しい中、一生懸命知恵を絞っていただいているようです。校長としても本当に楽しみです。

皆様には、まとまり次第、5月の教育課程説明会で御紹介できると思います。

今月は私の担当する「学校広報」と「教育目標」の一部を御紹介します。



★ 〈学校広報 泉中リアル〉 開かれた学校へ。皆さんと繋ぐ架け橋になれたのか？

新年、沢山の恒例行事が続きました。1月4日の泉区賀詞交歓会、翌日の出初式、翌々日以降、下和泉、和泉中央、富士見が丘各連合の賀詞交歓会。その途中には、ジョギング大会、マラソン大会、桜広場でのどんと焼き、更に市PTAの70周年式典やPTA総会などなど…行政機関の方、地域の方、保護者の方と本当に多くの方とお話しました。

誰もいない校長室〈校長コラム〉

新年のリアル閑話

どんと焼き会場で突然、背後から呼び止められる。「校長、校長。昨日届いたのに書いてあった『足』偏に『質』と書いてなんて読むのよ～わからないのよ」
「昨日？ あっ、一昨日発送のリアルか!! 足偏に質？ そんな事書いたかな？ もしかしたら…」
「それ、もしかすると、躓く(つまずく)…ですか？」
「つまずく？ 知らなかったわ。流石、勉強になるね～」
「それと、生徒想いのショウダイ君に、頑張らせてね」
「??? 翔太(しょうた)先生のこと？ 点が見えないか？」
少し歩いて先に進むと、また声をかけられる…
「あの先生痩せ過ぎだ。イモ食わせ。持っていくから」
「また、亀井先生の話。まるで息子の事みたいに。わかりました。本人にしっかりと伝えておきます」
別日、和泉中央賀詞交歓会。副校長を紹介して歩く。「すみません。御紹介遅れて。昨年着任の副…」
「副校長だろ、知ってる。リアル書いてたよね、お話」
「そうか。副校長の記事、先月号の記事だった。」
別日、PTAの周年祝賀会で南小のPTA会長と懇談。「校長先生、泉中リアルいいです。元気になりましたよ、全力少年。そうだなって共感。最後まで読める」
「褒められる事、めったになくて、少し嬉しい」
すると、隣に立っていた本校のPTA副会長も一言。「私も笑った。校長先生が、正月に、一人でスーパー銭湯行っているというコラム。寂しいね～。ハハッ(笑)」
「うーん、それはツッコむ所が違うと思う。」

その度、良く話題になるのが、本校の泉中リアル。皆さん、びっくりするくらい細部に渡り、御読みいただき、率直なご意見やご感想をください。

泉中は、約10年に渡り、学校だよりを発行していませんでした。着任当初、学校がよくわからない、知らないから関心がない、等ご指摘もいただき、

「もっともっと学校に関心をもっていただきたい」

「学校の中や先生、生徒の事を知ってほしい」と

社会に開かれた学校へ向け、まずは小さな一歩、との想いでスタートしたのです。

その際、目標にしたのが

「どれだけ多くの人に読んでいただけるか」

発行するだけじゃダメだ。手に取って最後まで目を通していただく事が大事、とした訳です。

「読みやすいカジュアル文体」「見やすい大きな文字」

「カラー版」「教師、生徒や地域の生き活きとした姿」

「授業や行事などで、表に出ない裏の苦労話の充実」

等を自分で編集方針と決めました。

一部職員から、他校と違う独特のテイストに色々指摘もあります。内容が軽過ぎる、カラーは無駄、手間がかかる、更には、校長に威厳がない等……

しかし、お陰様で完読率は高く多くの方から様々なお声を頂くようになりました。中には、持ち歩いて学校を宣伝して下さる方もいらっしゃいます。

そう振り返ると、当初の目標は達成できたかな、と感じます。今後は、私がいなくなっても、泉中広報の文化がしっかり残るよう、改善を進め、定着させたいと思います。〈尚、「校長の威厳」の云々は、次期校長に委ねます。(笑)〉

(注:ホームページ刷新は、デジタル写真の取り扱いルール決めに少し時間を要しています)



-前面に続きます。-

★〈学校教育目標〉 悩みに悩み…少しでも具体的になるように変更しました

今の泉中の教育目標、「自立」「開拓」「共生」の言葉。着任当時、学校の課題を踏まえ、育成したい生徒像を本当によく表現している言葉だな、と感じたものです。

そもそも中学教育の基本は、「卒業後、社会でより良く生きるための人を育てる」為の教育です。

○社会に出て、自ら課題を持ち、自ら考え、判断し、自ら決定し、自ら行動する事を学ぶ「自立」

○学級、部活等の集団や地域社会の中で、自分の役割を知り、他人を思いやる事を学ぶ「共生」

○刻々と変化する未来に備え、用意されているものに満足せず、新たに獲得する事を学ぶ「開拓」

素直だけれど、若干幼く、自分では決めきれずに、指示待ち傾向の泉中生。

表面的には仲良く見えるけれど、深く考えず、人をイジったり、SNS等で簡単に人を傷つけてしまう書き込みをしたりする泉中生。

自立、共生は、今も課題であり、中学校として普遍的な目標であると思います。

開拓は、どうでしょう。民間企業で新規事業を担当していた私にとって、この言葉は懐かしく、また、非常にやりがいを感じ、魅力に満ちたものでした。

2年間、この素晴らしい3つの言葉を意識し、授業や行事、課外活動や地域活動に結びつけて、学校運営をしてきました。もちろん、現時点で目標をクリアしたとは言えませんが、少しずつ、変化も見えてきた、というのが私や職員の自己評価です。

ただし、自立や共生は、比較的中学校の教育活動に結びつけやすい目標でしたが、開拓は、中学生レベルでは、結びつける取組が少なく、展開しにくい目標と感じておりました。

目標と取組は、常に関連付けて展開される事で、生徒や職員、保護者や地域の方に浸透します。そこで来年度以降の教育目標は、以下の考えで少し変更することにいたしました。

★泉中の良い伝統と定着しつつある解決すべき課題や目標としてきた生徒像を活かしておきたい。

★開拓の言葉を、より汎用性が高く、中学の教育活動に結びつけやすい「挑戦」に変更する。

★中学教育の基本である自立と共生を優先し、その後の目標を示す意味で「そして」を挿入した。

「自立」「共生」そして「挑戦」

人と人との関わりの中で、自ら学び、自ら成長しようとする態度や行動を通じ、自信をもって、未来を切り拓いていく生徒を育てます

(知)主体的に考え、意欲的に学ぶ生徒

(徳)自分を大切にし、人を思いやる生徒

(体)自ら鍛え、心身ともにたくましく生きる生徒

(公)自然、地域、社会を愛し、より良くする為に他者と協働できる生徒

(関)進取の精神(注)を持ち、夢や目標、新たな価値に挑戦できる生徒

(注)「進取の精神」…自ら進んで物事に取り組む気持ち



同時に、この2年間で感じた、「より自分と他人を大切にしたい」という人権尊重や「地域愛」「他人愛」の精神、更に「もっと自信を持って欲しい」「常に今より高い目標をもって成長して欲しい」などの想いを、具体的に解るような表現で、修正、加筆した上で、上記のような形にいたしました。是非、御理解いただければと存じます。

★〈中期重点取組事項〉 今後、取組んでいきたいこと。

今、上記の新しい「学校教育目標」の下、具体的な中期取組内容を考えています。学力向上を目指した理解しやすい授業は当然です。

「グローバル教育」の為に英語少人数制クラス編成、「人権尊重」「いじめ防止」の為に「全校で考える日」の設置、「ICT教育」の為にWi-Fiルーム新設、「特別支援教育」の為に教材充実等は、既に進めています。この2年間、進めてきた「地域連携」の加速、不十分な「小中一貫教育」の見直し、他にも「自分づくり教育」や「安全教育」等まだまだ、検討しなければなりません。しかし、いずれにしても基本は、常に学校や職員が生徒としっかりと向き合う姿勢の上に成り立つ事と考えております。御要望や御意見などありましたら、是非、お寄せください。



早坂のココロの声

3年生、面接練習、頑張る

2月15、18日は公立高校入試の面接試験。年明けから校長先生、副校長先生をはじめ、全校の先生方にもお願いをして、面接の受け答えや姿勢など対策してきた。出願時に提出した面接シートも自身の納得のいくまで何度も書き直して。一生懸命に取り組む生徒たちの姿に、合格を願うばかり。

正月百景(賀詞交歓会ほか) (文責:校長)

新年4日から続いた各連合などの賀詞交歓会。和泉中央連合に初めて参加した副校長。松浦副会長と談笑する姿は、どこぞの企業の「エライさん」みたいネ。(笑)



鳥海の目 〇〇<鳥海コラム>

国語の授業で「少年の日の思い出」という小説を扱う。この小説は私が中学生の時に教科書に載っていた。「暗い話だな〜。」「蝶を粉々に押しつぶすなんて…」と感じ鮮明に覚えている。まさか、〇〇年後に自分が教員としてこの話とまた出会うなんて!! 思わず、可憐な少女時代(?)を思い出し、懐かしくなった。笑

一方、新年休まず学援隊の皆さんの登校支援も始まりました。寒い中、本当に感謝です。新入生の自慢の標準服も売り出され、新年度の準備が、早くも動き始めています。



富士見が丘連合自治会 どんと焼き(1/13) (文責:校長)

正月のお飾り、御札、御守りやだるまなどを稲藁や竹で燃やす冬の火祭り、どんと焼き。「歳神様を天に返す」為の炎と煙。見て



いるだけで引き込まれますが、書初めの書き損じを火に入れ高く上ると字が上達するそうです。この祭りに欠かせないのが三食餅(だんご) 食べると一年間、健康でいられると、区長をはじめ、皆さん、手に取られてました。

どんと焼名物 三食餅

富士見が丘連合自治会 マラソン大会 (1/27) (文責:鳥海)

今年も陸上競技部員たちと富士見ヶ丘連合自治会のマラソン大会に参加しました。泉中生達の日ごろの行いの良さか、雲一つない晴天! 走ると頬にあたる風もすっとさわやか! まさにマラソン日和。泉中からは生徒に、教員に、大勢参加して大活躍。最後は、連合自慢の豚汁と焼きそば、それもお代わり付き。生徒達のお腹も満足し、今年も楽しい大会参加となりました。

陸上部大活躍!



顧問も軽快!



いい天気〜。



泉中 文化系表彰諸処(2/2) (文責:早坂)

第10回横浜市P連 三行詩コンクールで教育長賞受賞!

横浜市全体でNo1を獲得!! おめでとう!! 3年小宮瑠楠さんなんと、応募総数1183作品の中から厳正な審査のうえ、一番に選ばれました。『小さくなった母の背中 強くなった私の力 何枚がいいかな 肩揉み券』娘の温かい気持ちが短い三行に凝縮しています。本当に素晴らしい詩をありがとう。



秋好会長から表彰状を授与

下和泉地区社会福祉協議会主催「支えあい、助け合い標語」 採用作品の表彰式

12月の人権週間に道德の授業で作った人権標語を 今年度、初めて社協の標語コンクールに応募。その選考の結果が発表されました。1年生 6人、2年生 3人、3年生 3人が選ばれました。

以下、3年生の作品を紹介します。

鎌形陽斗さん『あいさつは みんなでつなぐ 虹の橋』

【最初のあいさつが地域の人や皆とつなぐ入口になる。】

熊谷彩花さん『人と人 支えあって 輪ができる』

【人は一人では生きていけない。支え合うことが大切】

森戸李樹さん『手をのばせ 君の勇気が 助け舟』

【何か悩んでいる人に勇気をもって声をかけてあげることが、悩んでいる人を救うことになる】

それぞれ、地域や人との関わりにおいて大切な事を考えるきっかけになったようです。生徒達が学習成果をこんな形で発揮、披露できる機会を与えてくださった地域の皆様に感謝申し上げます。



人権標語 表彰式 代表 3年熊谷さん